

国家試験

機械保全技能士電気系3級
取得に向けた技能研修講座のご案内

研修概要

本講座は、国家試験 機械保全士 電気系3級取得を目的とし、簡易なタイムチャートの読み取り、電気回路（ハード図）の読み取り及び作成と配線技術の習得を目的としています。

主催

※
(株) KAMAMESHI、(一社) 日本鍛造協会の共同開発

※日本製鉄(株)初の社内ベンチャー、経済産業省「出向起業」令和5年度採択事業
製造業向けに設備予備品の調達マッチングや社内在庫管理DX、保全人材コンサル事業を展開中（参考URL：<https://kamameshi.com/lp/>）

受講対象

機械保全士（電気系）技能検定受験希望の方、
受験相当の機械保全士（電気系）知識取得希望の方（電気知識は問いません）

形式

集合研修 1泊2日×5セット（講義回数 計10回）
座学と実技試験の指導を実施、各回課題あり

受講料

400,000円（税込）

助成金

本セミナーは、上記受講料の45%が下記助成金（制度が拡充されました）の対象となる場合があります。詳細は、下記ホームページをご参照ください。

- 雇用調整助成金：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07_20200515.html
- 人材開発支援助成金：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

人数

6名

ご準備いただくもの

- ・配線工具
（圧着器、ワイヤーストリッパー、ニッパー、ドライバー等）
- ・テスター

※受講生ご自身でご準備ください。

会場

機械振興会館 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8

申込締切

2025年5月16日（金）

機械保全技能士電気系3級 取得に向けた 技能研修講座のご案内

使用教材

専用教材 + 電気回路キット
(1人1台使用)

研修カリキュラム

講座	日程	内容
第1回	9月10日・11日	保全士（電気）概要説明 使用電気品説明（リレー、タイマー、PBS等）&配線工具取り扱い説明 配線実習
		課題1：配線実習自己保持回路、タイマー遅延回路等
第2回	10月8日・9日	課題1：配線自習、練習問題、学科
		課題1：配線実習、練習問題 課題2：リレータイマーチェック方法の説明、不具合修復
第3回	11月18日・19日	課題2：不具合修復
		課題1：2025公開後の配線実習、学科
第4回	12月10日・11日	課題1：試験想定（タイム計測&採点）、学科
		課題1：試験想定（タイム計測&採点） 課題2：試験想定（タイム計測&採点）
第5回	2026年 1月14日・15日	課題2：試験想定（タイム計測&採点） 課題1：試験想定（タイム計測&採点）
		課題1：試験想定（タイム計測&採点）、学科

講師紹介

元日本製鉄株式会社 電気設備技術士

累計100名超の若手・中堅を対象とした技能向上訓練の企画、教育の経験あり

- 2018年 日本製鉄株式会社社内の高技能者認定
- 2021年 千葉県「現代の名工」認定（電気配管工）

講座のスケジュール

1日目		2日目	
10:00	講義	9:00	講義
11:00			
12:00	昼食	11:00	
13:00	講義	12:00	昼食
14:00			
15:00			
16:00			
17:00			
		13:00	講義
		14:00	
		15:00	
		16:00	

受講のメリット

未経験者の方も合格実績あり！

- 保全技能士有資格者が在席することで、安定生産及び保全体制強化が可能
- 生産設備突発故障発生時の復旧初動迅速化
- 既存従業員の技能拡大・多能工化（体系的な理解深化）
- 自家整備範囲拡大による、修繕費の低減・リソース投入最適化
- 資格取得を人事評価に活用することで、従業員の自己啓発への意欲向上
- 採用活動時のP R効果（会社が資格取得を支援）

【ご参考】

資格試験の概要（2024実績）

1. 実施する検定職種（作業）および等級区分

- (1) 職 種： 機械保全
- (2) 等級および作業：3級（電気系保全作業）

2. 試験方法

試験は学科試験と実技試験を行います。

学科試験と実技試験の両方に合格することで「技能士」と称することができます。

(1) 学科試験

等級	出題形式・出題数	解答方法	試験時間
3級	真偽法30問	マークシート方式	60分

(2) 実技試験

等級・作業	電気系保全作業3級
実施方法	課題1：出題タイムチャートのランプ動作のなるよう検定盤内の配線 課題2：リレー&タイマー健全性確認（模擬不良品の状態確認&解答） 準備されたリレーシーケンスの不具合を修復
試験時間	課題1：標準時間50分+延長時間10分 TOTAL 60分 課題2：標準時間30分+延長時間20分 TOTAL 50分
審査方法	課題1：検定員による動作確認&配線確認 課題2：リレー&タイマー健全性確認 解答用紙マークシート方式 検定員による動作確認&配線確認

3. 受講料

学科試験のみの受験手数料	4,600円
実技試験のみ受験手数料	15,400円
学科・実技試験両方の受験	20,000円

4. 合格基準

項目	説明
学科試験	加点法で100点満点として65点以上の場合、合格となります。
実技試験	減点法で41点以上の減点がない場合、合格となります。 ※正答以外の解答（不正解、空欄、記入ミスなど）は、 すべて減点対象となり100点から減点されます

各設問の配点、受検者個別の解答内容など、採点結果については非公開です。